



# あんしん道あいさ 第27号

一般社団法人 愛知県道路標識・標示業協会

<http://www.ansinmichiaichi.jp>

TEL(052) 241-4515/FAX(052) 252-8156/E-mail [zen-ai@syd.odn.ne.jp]



より安全・安心な通学路の確保のための  
カラー標示等による安全対策  
(愛知県蒲郡市／蒲郡市立三谷小学校)

## 目次

- ごあいさつ .....(1)
- <令和5年度 子どもを守るうプロジェクト>  
令和5年度 蒲郡市通学路カラー標示寄贈及び贈呈式 .....(2)
- <交通安全啓蒙活動>  
交通安全運動活動報告、交通遺児を励ます会への寄付活動.....(3)
- <非常災害時保安機材供出ネットワーク>  
愛知県・安城市総合防災訓練/非常災害時保安機材供出ネットワーク.....(4)
- <交通安全施設技術研修会> 開催報告 .....(5)
- <交通安全施設に関するアンケート> 県下自治体アンケート調査結果.....(6)
- <技術情報 標識部会> 道路標識標準資料集改定 .....(7)
- <技術情報 防護柵・遮音壁部会>  
歩行者安全対策における防護柵のあり方について .....(8)
- <技術情報 標示部会> 自動運転に対応した区画線整備の必要性 .....(9)
- <路面標示技能士検定> 令和5年度 路面標示技能士検定実施報告 .....(10)
- <次世代研修会・交流会> 技術研鑽、情報交換 .....(11)
- <令和5年度 定時総会> 定時総会開催報告
- 会員名簿 .....(12)

## 新年のごあいさつ

一般社団法人 愛知県道路標識・標示業協会 会長 加藤 淳一



新年明けまして  
おめでとうございます

本年が皆様にとって良き  
一年であることを心より  
お祈り申し上げます。



昨年を振り返りますと、  
新型コロナウイルスが2類から5類に引き下げられ、  
段階的に経済活動が活発となり、平常を取り戻した  
ように思われます。しかしながら、ロシアのウクラ  
イナ侵攻が続き、国際情勢が不安定な中、物価高や  
企業のコンプライアンス等、我が国でも課題の多い  
一年となりました。

愛知県の交通事情をみますと、交通死亡事故ワー  
ストワンを返上してから順調に減少したのも一転、  
経済活動が平準化するとともに事故件数が増加し、  
極めて厳しい状況にあります。

本年も悲惨な事故を1件でも多く無くすことを課題  
として、事業の一部を次のとおりご紹介いたします。

### 生活道路の安全対策「ゾーン30プラス」

生活道路における人優先の安全・安心な通行空間  
の整備の更なる推進を図るため、当協会としては、  
当該地に適切な物理的デバイス設置の提案をして  
まいります。

### 運転支援技術と道路区画線

自動運転車の社会実装化を踏まえ、区画線の判  
離率を測定する技術や管理についてご提案してま  
いります。

### 子どもを守るうプロジェクト

愛知発の事業として、交通事故・犯罪・災害から「子  
どもを守るうプロジェクト」は全国各地で展開されまし  
た。本年も継続してプロジェクトを推進してまいります。



結びとなりますが、皆様のご健勝とご多幸をお祈  
り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

## 令和5年度 蒲郡市通学路カラー標示寄贈および贈呈式

子どもを守ろうプロジェクト委員長 本多 徹

### 蒲郡市立三谷小学校通学路安全対策

#### 通学路カラー標示の施工概要

蒲郡市の南側にあります三谷小学校の通学路に、カラー標示による通学路の安全対策を施工してまいりました。現場は国道23号の抜け道になっている狭小な道路ですが、朝は通学児童と渋滞回避の車両が混在する危険な道路でした。緑と白を組み合わせたカラーエスコートを中心に、歩行者の安全に対する啓発を行えるよう提案し、施工をしてまいりました。



三谷小学校の通学路に設置した「通学路カラー標示」

#### 蒲郡市の現状

市内で、このボランティアとほぼ同時期に、別の道路で自家用車と高校生の重大な人身事故が発生しました。こうした背景もあり、このような活動が事故抑止に繋がる活動であるとみていただけただけで、交通安全プログラム推進室様から、今後も交通安全に関するアイテム等の提案をしてほしいというお言葉をいただきました。



三谷小学校の通学路に設置した「路面シート」

#### 7月25日贈呈式

今回のボランティア活動に対して、7月25日に蒲郡市の市長応接室にて贈呈式を執り行うことができました。

蒲郡市の鈴木市長様より今回の通学路カラー標示に対して、“未来の蒲郡市を担う子供たちが安全安心に学校生活を送る一助になるものと大いに期待しております”というお言葉を頂戴しました。これに対し、加藤協会長から“地域社会の宝である子供たちが安心安全に通学できる環境の実現を目指し、これからも活動してまいります”と返答をし結びました。当協会から鈴木市長様に向け目録を贈呈し、鈴木市長様からは感謝状をいただき、贈呈式が暖かい雰囲気で行われました。



蒲郡市役所内の市長応接室にて行われた贈呈式の様子

## 交通安全活動に対する愛標協の取り組み

交通安全運動事業委員長 村田 肇

# 交通安全運動活動報告、交通遺児を励ます会への寄付活動

### 全国交通安全運動について

交通安全県民運動は愛知県交通安全推進協議会(会長:大村秀章様)が開催する県民ぐるみの社会活動です。年に4回(春、夏、秋、年末)開催され、交通安全に対する啓蒙活動を行っております。

今年は新型コロナウイルスも第5類となったことで各回の活動もコロナ過以前の活動ができるようになりました。各期の交通安全運動一斉大監視の日には会員それぞれの職域における立哨活動にも参加しています。



秋の交通安全運動期間中、JR名古屋駅東口では一日署長の井戸田潤氏のトークイベントが行われた

### 秋の交通安全運動について

秋の交通安全県民運動において、当協会は(1)各地の交通安全県民運動への参加(中村警察署、豊田警察署、津島警察署管内)、(2)啓発グッズの配布、(3)その他ボランティア団体主催の交通安全啓蒙運動への参加を行っています。

中村警察署管内ではJR名古屋駅東口において、タレントの井戸田潤氏に一日署長を委嘱して、交通安全のトークと啓発物品の配布を当協会員、太閤ライオンズクラブ等、皆で行いました。津島警察署管内、豊田警察署管内においても各地域の当協会員全員参加で交通安全啓蒙活動に参加しました。



秋の交通安全運動における啓発グッズの配布

### その他交通安全事業委員会活動について

その他の活動では、全国交通安全運動の期間中に開催される、愛知県高速道路安全協議会主催の交通安全活動に参加しました。また公益財団法人交通遺児を励ます会を訪問して寄付活動を行っています。



交通遺児を励ます会に寄付

# 非常災害対策プロジェクト 活動報告

非常災害対策プロジェクト委員長 神農 信克

## 非常災害対策プロジェクト 活動報告

### 愛知県総合防災訓練への参加

令和5年9月3日(日)午前9時30分より愛知県安城市総合運動公園にて、総合防災訓練が開催されました。

訓練テーマは「防災関係機関の連携と防災意識社会の確立～Anjoy Bosai～」、重点事項として①災害時防災協定を結ぶ事業所及び防災関係機関との連携訓練、②医療救護所の設置・運営訓練、③多様化する避難方法の習得、④市民の自助・共助能力及び防災意識の向上に資する啓発。

以上を掲げ訓練に臨みました。

訓練参加機関100機関、参加者2,500名で快晴の中、澆刺と実施されました。当愛知県協会は、被災地の二次災害を防ぐため「危険箇所への立入防止用保安機材設置」を行いました。



速やかに保安機材を設置する訓練

危険箇所への立入防止用保安機材設置」を行いました。

7月～9月に掛けて実施した地区別訓練の効果もあり、隊員たちのテキパキとした動きがとても心強く感じました。今後も継続し積極的に活動して参ります。



放水訓練

### 非常災害時保安機材供出ネットワークについて

7月～9月に掛けて、愛知県下7地区で非常災害時保安機材供出訓練を計画し、内5地区において実施致しました。

本訓練は、大地震や線状降水帯による集中豪雨など災害が発生した際、当局より要請を受け、被災箇所の二次災害を未然に防ぐ目的で活動しております。

愛知県下11か所に備蓄している保安機材(セーフティコーン・ブルーシートなど)を被災現場に搬出し、協会隊員が立入禁止区域を速やかに設置する作業です。

万が一の災害時に、官民協働で被災地の救援にあたることのできるよう、各建設事務所の防災・維持担当者さまにご巡視・ご指導を賜り、有事に於けるそれぞれの役割について話しをしました。



建設事務所様巡視

### 地区別 訓練風景



## 令和5年度交通安全施設技術研修会 開催報告

研修委員長 立岩 良之

## 交通安全施設技術研修会 開催

## 開催報告

令和5年9月27日(水)名古屋市内会場におきまして令和5年度交通安全施設技術研修会を開催いたしました。

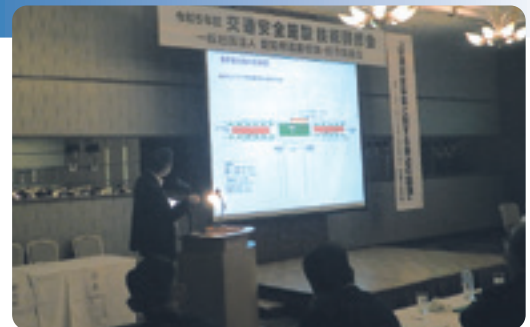
官公庁様からは中部地方整備局7名をはじめ愛知県建設局10名、愛知県道路公社1名、名古屋市2名、他市町40名の計60名の職員の方々に御出席を賜り、当協会正会員・賛助会員他63名を含めた総勢123名にて交通安全施設の研修が行われました。



会場風景

## 公益活動紹介

子どもを守ろうプロジェクト委員会から蒲郡市に寄贈しました通学路安全対策の紹介、非常災害対策プロジェクト委員会からは安城市で行われました愛知県総合防災訓練参加及び各地区での防災訓練の実施について紹介しました。



公益活動発表風景

## 特別講演及び専門部会からのプレゼンテーション

特別講演として中部地方整備局道路部交通対策課長の加藤正臣様をお招きして、「交通安全事業に関する最近の話題」について多岐に渡りご講演いただきました。

また、専門部会からのプレゼンテーションでは(一社)全国道路標識・標示業協会本部から石井路面

標示委員長にお越しいただき「区画線と自動運転の最新情報」について発表がありました。その後防護柵・遮音壁部会から「歩行者安全対策における防護柵のあり方」、標識部会から「愛知県道路標識標準資料集の改定」について発表がありました。

質疑応答ではいくつかご質問をいただき、また、研修会終了後お問い合わせも寄せられ、交通安全対策についてご出席いただきました方々の関心の高さが伺える研修となりました。



基調講演(国交省交対課)



技術情報発表風景



本部石井路面標示委員長

## 交通安全施設に関するアンケート

副会長 長坂 武久

# 交通安全施設に関するアンケート結果

### 実施趣旨

県下各自治体様が交通安全施策を推進する上での課題や方向性を把握することで、安全施設のより効果的な対策のご提案や、施工方法の改善又は創出を図ることを趣旨として実施いたしました。尚、本アンケート結果は「技術研修会」の内容の検討にも役立てさせていただきました。

#### ●アンケートの概要

- 実施期間：令和5年7月20日～令和5年8月2日
- 対象団体：愛知県内56自治体
- 回答率：73.0% (41自治体)
- 質問：10問複数回答可

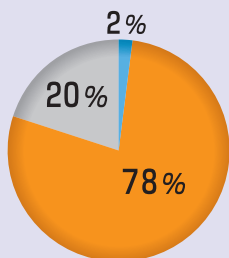
#### ●主な質問内容

- 交通安全施策に関する優先度や重点的取組
- 幹線道路、生活道路それぞれに有効な安全対策について
- 交通安全対策を進めるうえで感じる課題について
- 当協会に求められるもの、ご意見

問2

交通安全対策を考えるうえで、特に重点的に取組んでいるものを選んでください。

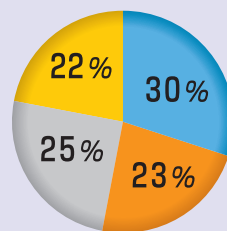
- 幹線道路における安全対策
- 通学路等の生活道路における安全対策
- どちらともいえない



問6

交通安全対策を進めるうえで感じる、課題について伺います。

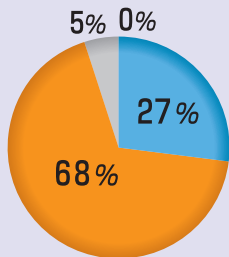
- 予算
- 地域の合意形成
- 道路構造上の問題
- 交通モラル



問5

道路施策全体の中での「交通安全施設整備」の優先度について伺います。

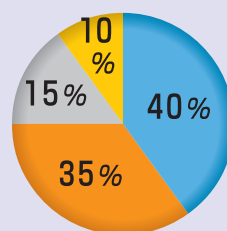
- 優先度が高い
- どちらかというが高い
- どちらかというと低い
- 優先度が低い



問9

専門業者団体である「愛知県道路標識・標示業協会」に求めるものがあれば教えてください。

- 新技術・工法の提案
- 専門技術及び対策事例の情報発信
- 専門技術研修会の開催
- 特になし



#### ●アンケート調査結果の考察

1. 道路施策全体の中での「交通安全施設整備」の優先度高く、幹線道路より通学路を含む生活道路における安全対策への取り組みの割合がとて高い。
2. 交通安全対策を進めるうえでの課題は、予算、地域の合意形成、道路構造上の問題、交通モラルそれぞれの割合が拮抗しており対策推進の難しさが伺える。
3. 高耐久性区画線などインフラの長寿命化への関心も高いことを知ることができた。
4. 我々専門業者団体に求められるものとして、新しい技術・工法の提案や対策事例などの情報発信が挙げられており、今後の対応に生かしていかなければならない。

## 道路標識標準資料集 改定

### 道路標識標準資料集の改訂

#### 【道路標識標準資料集の改定の経緯】

昭和35年新しく道路交通法が制定され方の実施に伴い総理府・建設省令をもって「道路標識・区画線及び、道路標示に関する命令」(通称標識令)が定められ「道路標識設置基準・同解説」「道路標識設計要領」「道路構造の手引き」「道路標識ハンドブック」などの指針が出されました。

そうした背景から法令・条例等に適応した愛知県独自のの本資料が、平成12年初版として発刊され、その後法令や要領・ガイドライン等の見直しにより、今回令和5年8月に5回目の改訂版として発刊致しました。



▲令和5年8月に改訂された「道路標識標準資料集」

### 「道路標識標準資料集」改訂の大きなポイント

#### ◆大きな改訂のポイント

- ① (一社)全国道路標識・標示業協会「道路標識ハンドブック」Ⅲ関係法令編が令和3年に改訂され、Ⅰ設置編 及び Ⅱ設計・製作・施工・維持管理・沿革編 が令和4年に改訂されました。
- ② 昭和62年以来、日本道路協会「道路標識設置基準・同解説」が「道路標識構造便覧」と2つに分かれて令和2年6月に改訂されました。
- ③ 溶融亜鉛めっきに関するJIS規格: JISH 8641及びJISH 0401が令和3年12月20日付けで改正となりました。
- ④ 「道路標識、区画線及び道路標示に関する命令の一部改正」がありました。

以上の内容をふまえて、本冊子は設計・積算の基準となるように、解りやすく活用していただくことを目的として作成されております。



▲令和3～4年に改訂された「道路標識ハンドブック」



▲令和2年6月の改訂で2冊に分かれて使いやすくなった『道路標識設置基準・同解説』と『道路標識構造便覧』

## 歩行者安全対策における防護柵のあり方について

### 愛知県の道路構造の手引きの改訂

愛知県の道路構造の手引きに改訂があり、防護柵の設置基準に新たに「園児・児童・生徒が通学等に利用する区間で、その保護のため必要だと認められる区間」の項目が加わり、車止め(ボラード)の新たな項目も追加となりました。

### 愛知県内の県道を対象とした調査内容

事故の発生状況と防護柵の設置基準の改訂を踏まえて、愛知県内の全ての一般国道、主要地方道、一般県道を対象とし、歩車道境界部に設置してある車両用防護柵の基準に満たない横断防止柵・転落防止柵について調査を行いました。その中で危険箇所などを特定し、積極的に車両用防護柵への取替を提案していこうと思います。

取替対象  
の例



### 愛知県内での車止め(ボラード)の設置事例

横断歩道の開口部への安全対策の実例報告をさせていただきます。





# 自動運転に対応した区画線整備の必要性

## 車両の進化と区画線整備促進の必要性

自動車の進化に伴い、現在販売されている乗用車のその殆どには車線逸脱防止機能(LKAS)が搭載されており、この機能の装備率は今後更に上ってまいります。

このような状況の中、道路インフラ整備、とりわけ区画線の整備については、社会的要求が高くなる事が大いに予想されており、他県においては既に緊急予算を確保してこれらの整備に充てている例もあります。

- =====
- 路面標示・道路区画線整備への社会的要求
- 白線は安全の物理的デバイス
  - 車の性能が発揮できない
  - 安心・安全な街づくり
- 区画線整備の促進
- =====



### 路面標示評価ランクについて

当協会では、交通事故の多発している愛知県下の道路事情において必要不可欠な交通安全施設が良好かつ健全な状態で保たれることを目的とし提案活動をおこなっております。中でも路面標示・道路区画線については降雨による視認性の低下が顕著、他の交通安全施設に比べ雨やライクルでの維持管理が必要とされます。しかし視認性の良否については毎々の判断に多少の誤差や違いが生じることがあります。そこで当協会では既存の路面標示に一定の判断基準を設け、それらに基づき更新の必要性を提案しております。



更新の対象

評価ランク 3

評価ランク 2 **令和5年度 調査対象**

評価ランク 1

評価ランク	定義	印象	判断理由	夜間	雨天
5	視認性・標線ともに良好	濡いまたは強く見える	更新後あまり時間が経過していない	○	○
4	視認性良好	見える	昼夜間の視認性に問題なし	○	○
3	視認性にやや問題あり	やや見えにくい	夜間・雨天時には見えにくい	△	×
2	視認性に問題あり	うすいまたは見えにくい	夜間・雨天時にはほとんど見えない	×	×
1	視認性極下もしくは無し	殆ど見えない	直ちに更新が必要	×	×

↓ 交通事故総合分析センターの資料で「車線逸脱事故の特徴」が示されています ↓

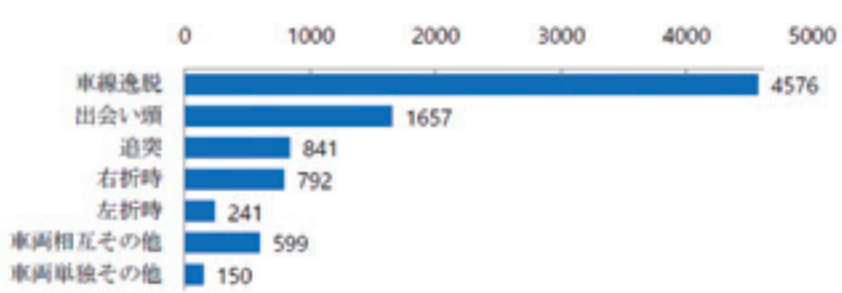


図1：四輪車乗車中における事故類型別死亡事故件数

- ① 死亡事故は車線逸脱事故が一番多い
- ② 直線部の事故が一番多い
- ③ 状況は緩やかな逸脱
- ④ 要因は居眠りが多い
- ⑤ 気が付くのは衝突時

という結論を出しています。

**LKAS(車線維持支援システム)と、認識可能な区画線の整備で事故を防ぐことは可能**

## 路面標示技能士検定

標示部会長 長坂 武久

# 令和5年度 路面標示施工技能士検定 実施報告

■令和5年8月23日(水)中京競馬場駐車場において路面標示施工技能士検定が実施されました。この検定は、全標協中部支部が愛知県職業能力開発協会から国家試験の検定機関の一員として実技試験の委託を受け実施したもので、本年は中部4県から48名が受験しました。猛暑の中、協会員各社の検定委員6名、補佐員13名、補助員32名計51名の協力によって実施されました。

■この路面標示施工技能士は建設業法における国の認定を受けており①専任技術者となる ②主任技術者となる ③技術者資格として評価対象になる 資格を有します。この制度を広く活用していただくことをお願い致します。

開会式



開会式



会場全体のようす



ハンドマーカ-検定のようす



課題は矢印(直進左折)の施工



課題に取り組む受験生



令和5年度「次世代研修会」

総務委員会 若松 典生

令和5年度「次世代研修会」開催報告

新型コロナウイルス感染症の状況の変化に伴い、令和元年度以来の第2回次世代研修会が開催する運びとなりました。今回も業界の未来を背負って立つ方々に参加して頂き、日頃取り扱っている製品の製造工程や品質管理方法などの知識を深めることが出来ました。

令和5年9月15日(金)協会員50名が2班に分かれ、(A)座学にて標識柱の製造工程、製品検査、標識設計について、BIM/CIMに関する取り組みを学び、(B)静電粉体塗装について製造工程、納入事例、独自技術、品質管理体制および工場見学を行いました。実際に研修を行うと、書籍やインターネット、パンフレットだけで学ぶことができない効率的な生産方法、高品質を維持するための検査設備、緻密な設計及び独自技術など受注から製品が出荷されるまでの一連の工程を学ぶことができました。また研修会終了後に、交流会も開催しました。



次年度以降も協会のレベルアップと若手育成のため本研修会を継続して参ります。これからも地域のインフラを担う業界団体として、品質・安全・経済性などを考慮し、少しでも良いご提案ができますよう技術と知識の向上に努めて参ります。



(一社)愛知県道路標識・標示業協会定時総会開催報告

総務委員長 成田 聡

令和5年度「定時総会」開催報告

※交通安全施設の専門業者団体としての役割

令和5年5月10日サイプレスガーデンホテルにて、(一社)愛知県道路標識・標示業協会定時総会が開催されました。新型コロナウイルス感染症の位置づけは、本年5月8日より「第5類感染症」へ移行となりましたが、未だ完全終息しておりませんので、出来る限りの感染対策を徹底した上で開催し、第1号議案から第5号議案まで承認可決されました。開会に先立ち加藤会長は、「当協会は一般社団法人化し10年が経ちます。10年前と比較しましても交通事故負傷者・死者数とも減少しており、少なからず交通事故の減少に貢献できていると思いますが、決してゼロにはなっておりません。1人でも被害者や加害者を減らすために、交通安全施設の整備と安全対策の提案を継続的に行うことが当協会の使命であります。本年度も通学路の安全確保に向けた提案、災害に備えた防災訓練など、社会的役割を果たすために会員の皆さまにもご理解とご協力をお願いします」と挨拶されました。



挨拶をする加藤会長

※議事内容

定時総会  
議題

- ・ 第1号 議案 令和4年度事業報告の承認を求める件
- ・ 第2号 議案 令和4年度収支決算報告の承認を求める件
- ・ 第3号 議案 令和5・6年度理事及び監事の選任を求める件
- ・ 第4号 議案 令和5年度事業計画案の承認を求める件
- ・ 第5号 議案 令和5年度収支予算案の承認を求める件

※ご来賓の方より議案審議に先立ちご臨席を頂き、ご祝辞を賜りました

■ご来賓…愛知県警察本部 交通部交通規制課 課長 新谷 遼 様

■ご来賓…愛知県 建設局 道路維持課 課長 林 克行 様

■ご来賓…当協会顧問 愛知県議会議員 寺 西 睦 様  
寺西顧問代理出席 清須市議会議員 松岡 繁知 様



愛知県警察本部 交通部交通規制課 課長 新谷 遼 様



愛知県建設局 道路維持課 課長 林 克行 様

## 一般社団法人 愛知県道路標識・標示業協会

## 会員名簿

正 会 員	電 話 番 号
(株)アサヒカッター	(052)793-2043
アトムテクノス(株)名古屋営業所	(0586)24-5706
(株)イセヤス建材	(0532)33-3303
(株)オカムラ	(0567)65-6050
小田鐵網(株)	(052)351-5181
(株)キクテック	(052)611-0680
協栄産業(株)	(0567)65-2995
(株)京伸	(0565)33-2141
(株)金原	(0532)31-4969
(株)コウエイ	(052)822-5137
交通企画(株)名古屋営業所	(052)938-6320
サンダイ技建(株)	(0568)43-3221
信号器材(株)名古屋営業所	(052)832-2571
順天工業(株)	(0565)48-4851
スロープガード(株)	(0564)28-0661
(株)ダイエーディスプレイ	(052)411-3811
(有)ダイシン	(0532)26-0361
大電土木(株)	(0565)53-3883
中日保安設備(株)	(0587)95-1284
中部道路(株)	(052)772-6131
(株)中部道路施設	(0586)51-6669
寺部安全施設(株)	(0563)65-2800
東愛工業(株)	(0565)53-2072
(株)東亜製作所	(052)891-1711
東亜ライン(株)	(052)624-5071
東京戸張(株)	(0533)68-7151
東邦ステンレス工業(株)	(0562)33-1676
東祐工業(株)	(0565)27-6885
東陽工業(有)	(0565)26-9111
東陽テック(株)	(052)651-4531
豊田(株)	(052)935-5561
西尾ライン(株)	(0563)54-3481

正 会 員	電 話 番 号
日道工業(株)	(052)265-7137
(株)日本道路システム	(0564)26-3381
日本ライナー(株)中部支店	(0586)71-4155
阪神装路(株)名古屋支店	(0586)77-1084
富国合成塗料(株)豊橋営業所	(0532)31-6230
藤安全施設(株)	(0567)95-8038
(株)マイ・ロード	(052)805-1131
(株)前山	(052)841-9250
(株)みどり安全社	(0564)48-2888
美松工業(株)	(0569)29-2751
名東電気工事(株)	(052)763-2141
名阪興業(株)	(0566)82-8818
(株)メタルテクノ神戸	(0532)31-6700
森工業(有)	(0565)44-0255

賛 助 会 員	電 話 番 号
(株)アークノハラ名古屋営業所	(052)218-5238
(株)吾妻商会名古屋支店	(052)745-7407
G X (株)	(0532)52-4577
(株)興和工業所土木建材部	(0569)29-3041
三永商事(株)	(052)232-5800
サンコー企画(株)	(076)289-6708
(株)三陽商会中部支店	(0567)57-0160
篠田(株)	(058)214-3497
(株)篠田商会名古屋支店	(0568)34-0215
JFE建材(株)名古屋支店	(052)204-5707
スリーエムジャパン(株)名古屋支店	(052)220-7257
積水樹脂(株)中部支店	(052)961-1571
セフテック(株)名古屋支店	(052)902-2711
日鉄神鋼建材(株)名古屋支店	(052)265-8982
日本地工(株)名古屋営業所	(052)899-4111
不動フェンス工業(株)	(052)852-9970



## ■お問合せ先

〒460-0011 名古屋市中区大須四丁目13番46号  
ウイストリアビル5階

TEL (052) 241-4515

FAX (052) 252-8156

E-mail zen-ai@syd.odn.ne.jp

<http://www.ansinmichiaichi.jp>